

コロナ禍における『修学旅行支援事業』（福岡県知事との質疑）！！

令和4年3月22日に開かれた福岡県議会予算特別委員会（知事保留質疑）で、みやま市選出の板橋聡議員（自民党県議団）は、「ウィズコロナ政策」と「コロナ禍における就学旅行支援」について服部誠太郎福岡県知事に質されました。



人類が根絶できた感染症は、天然痘ただ一つです。

それもジェンダーが種痘を行ってから200年かかりました。新型コロナがゼロになる日は我々が生きているうちには訪れないと思われず。

一方で、ワクチン傾向治療薬治療法など人類は新型コロナと戦う武器を着々と手に入れ、先ほど申しましたとおり新型コロナで亡くなる方の傾向もわかってきました。

新型コロナ対策の予定が、命を守り、救える命を救うことであるならば、死亡リスクが極めて低い60歳未満まで含めた県民一律の行動抑制ではなく、コロナから身を守るべき方には感染対策を徹底し、感染してもリスクが低い人はどんどん社会経済を回すような、これらと共存するウィズコロナ政策へ舵を切るべきではないでしょうか。

【質問1 ウィズコロナ政策に対する知事の所見は・・・】

【服部 知事】

第6波蔓延防止等重点措置については、新規陽性者の数が減少傾向を続けており、また重症病床使用率は10%を上回ることなく病床率も3月中旬には50%を切ると、本県の推計を行っていました。また、高齢者のワクチン接種率も70%に達する見込みでした。

このようなことから、飲食店の時短等の措置を続けることの効果と、そのことによる社会経済に与える影響、これを勘案して、山際大臣に対し蔓延防止等重点措置の解除を要請したところです。併せて、気候も良くなり、人の動きも活発になるこの時期に、早期のリバウンドを防ぐということから、4月7日までの1ヶ月間を、本県独自の感染再拡大防止対策期間と設定して、県民、事業者、高齢者施設等に対し、感染防止対策の徹底を要請しているところです。

オミクロン株の特性を踏まえて、ウィズコロナに向けた歩みを進めていくためには、ワクチン接種率の向上、そして治療薬の確保、また医療提供体制の強化、検査体制の充実、さらに飲食店における感染防止対策の徹底などが必要であると考えています。

本県においては、これらは着実に進んでおるものと考えております。そして何より、最大の対策は、私達自身が基本的な感染防止対策を徹底し、慎重に行動することであると思っています。

私としては、このようなことをさらに徹底をして、ウィズコロナ、すなわち感染防止対策と社会経済活動との両立を図っていかねばならないというふうを考えています。

国においても、イベントにおける人数制限が緩和され、ワクチンと検査を活用した新たな行動制限緩和策について、検討が進められているところです。

このような中で、県がとるべき措置は、国の基本的な対処方針に定められています。

この基本的対処方針が、ウイルスの特徴や感染状況に応じて柔軟かつ機動的に対応できるようなものになるよう、引き続き全国知事会を通じ国に対し提言を行って参りたいと考えています。

また、県が定めています『**福岡コロナ警報**』についても、デルタ株からオミクロン株へとウイルスの特性が大きく変化をしましたので、これまでとは異なる運用が必要になってきております。感染状況の変化に応じて機動的に対応できるよう見直しを行って参る考えです。

【質問2 ワンヘルスに関連する観光素材を開発し、PRすべきと考えますが・・・】

【服部 知事】

「人と動物の健康、そして環境の健全性、これは一つである」と考えるワンヘルスの理念。

これは、人事共通感染症対策、或いは環境保護、そして、人と動物の共生社会づくりなど、修学旅行を初めとする教育旅行において、学びのテーマとなりうるものであると考えています。

このような旅行を通じて、このワンヘルスの理念を県内外にも広めることができるものだと思います。

このワンヘルスの理念をわかりやすく、楽しみながら理解をしていただくためには、ガイドの育成など受け入れ環境を整備すること、ワンヘルス関連の観光素材を開発することが必要です。

県では、来年度、四王寺県民の森をワンヘルスの森として、人と動物と、そして森の関わり、これを解説いたしますパネルなどを設置するとともに、ワンヘルスガイドの育成を行っていききたいと思います。

こういった受け入れ環境の整備を行って、**ワンヘルスの森へのツアー**を行っていききたいと思います。

また、観光振興を所管しております商工部など、知事部局のみならず、教育委員会も含めた全庁的な連携を図って、例えば、ドッグランなど動物と触れ合える公園の整備、或いは新たに創設します**ワンヘルス認証制度**によって認証されました農林水産物を使った食事の提供。こういった観光素材の開発に努めていきたいと思っています。

さらに、こうした施設、或いは観光素材の開発の後には、福岡県観光連盟とも連携をして、旅行商品の造成の働きかけ、また、情報の発信に努めていきたいと思っています。

服部知事におかれは、その立場を十分にご理解いただき、新型コロナ対策最前線の長として存分にリーダーシップを発揮し、国から降りてくる全国一律の対処方針に翻弄されるのではなく、実情やデータに基づいた政策で感染防止と社会経済活動の両立を実現していただけるよう切にお願いします。

2022年3月26日

福岡ワンヘルス協議会・事務局